

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
芸術	美術 I	2	選択	共通	1

教科書（発行所）	新・高校生の美術 1（日本文教出版）
教科書以外の教材	アクリル絵の具、スケッチブック等

目 標	<p>1 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>2 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>3 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>			
	学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期	オリエンテーション レタリング 基礎描写	美術とは何か、どんな作品があるかを学ぶ。 描写の基礎について学び、鉛筆の使い方や形のとらえ方などを学習する。 字をレタリングすることにより、形の基本を学ぶ。 基礎描写を応用して、石膏を描く。それにより、遠近法や光の描き方よって変化する物体の見え方の違いを感じ取り、対象をよく見つめ表現する力を育てる。 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	提出物点検 中間作品 提出物点検 期末作品 提出物点検
	2 学期	色彩の基礎 絵画	アクリルガッシュで色の仕組みを学ぶ。 身の周りにあるものを丁寧に観察し、写實的に描写する。 形や色、材料、光などを工夫し、用具の特性を生かして制作する。 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	提出物点検 中間作品 提出物点検 期末作品 提出物点検
	3 学期	素材を変えて まとめ	これまでに学習したことをもとに、素材を変えて製作をする。表現の素材・方法が異なる題材を通して、それぞれの違いや共通性を学ぶ。 主題をもとに、形、構成などの構想を練る。形、構成などを工夫して制作する。 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。 これまでの学習活動を振り返り、美的な能力の向上を感じ取ったり、今後の美術との関わりをイメージしたりする。	提出物点検 期末作品 提出物点検
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	<p>1 実技作品は完成まで責任をもって取り組みましょう。自分以外、その作品を完成させることは出来ません。</p> <p>2 作品の制作過程、鑑賞活動も重視します。いかに興味を持って取り組み、自分なりの工夫をしたかが大切です。</p> <p>3 移動教室のため、遅刻をしないように時間に余裕を持って行動しましょう。</p> <p>4 美術の基礎的内容を学び、その魅力を理解し、生涯にわたって美術を愛好することが出来るようになります。</p>			

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。
評価の方法	定期考査は行わず、上記の3観点を元にして総合的に評価します。		